投信フォーラム2013 in 高知

～あなたのライフプランに投資信託考えてみませんか～

投資信託についての基礎知識を学ぶ「投信フォーラム2013 in高知」が2月2日、高知市本町3丁目の高新RKCホールで開かれました。フォーラムの第1部は、本県出身のプロ野球解説者、江本孟紀氏が、「プロ野球を10倍楽しく見る方法」と題して特別講演。第2部では、投資信託の特徴や使いこなすポイントなどについて、ファイナンシャルプランナー（FP）の野尻美江子氏がセミナーを開催。資産運用に関心を持つ約280人の参加者が熱心に耳を傾けました。

特別講演

プロ野球を10倍楽しく見る方法

本当のプロスタートは高知

プロ野球解説者
江本　孟紀氏

野球をやめて解説者になって今年で33年になります。

私は高知商業時代はピッチャーで4番でしてね。2年生のとき「春のセンバツ」にも選ばれた。始まる直前に、ちょっと不祥事が起きまして、高野連から「1年間対外試合禁止」という重い処分を受けてしまった。

子どもの時、長嶋茂雄ファンだったのでプロ野球に憧れて、甲子園に出ればすぐ行けると思っていたのに、あえなく最初の夢が破れた。で、長嶋さんの母校の立教大を目指したが断られ、また一瞬にして夢が破れた。もうがっくりしましたね。

それでも駄目なときは救ってくれるものがある。法政大のセレクションに受かって、卒業式も終わらないうちに野球部に入っていた。「4年やって頑張ればプロ野球に行ける」と思って頑張ろうと思いましたが、1年間のブランクで調子が出ずに、結局プロに行けなかった。最後の望みで東京の熊谷組に入社して1年間チャンスを待ったけど、プロ野球からはドラフト指名されなかった。

ところが人間、「絶対良くなる」と思い込むとかなえさせてもらえるんですね。1月の終わりに、思いもしない東映フライヤーズのスカウトから電話があった。それでやっとプロ野球に入団できました。

東映フライヤーズは静岡県伊東市で2月1日からキャンプをやっていた。私が契約してプロ野球に入ったのが2月16日。入団後すぐに打撃練習で投げさせられたんですが、ストライクが全然入らなくてね。

3人目の打者が出てきた瞬間に目まいがしましたね。それが親分格の張本勲さんでした。有名な「喝（かつ）！」のオヤジですわね。当時は「王・長嶋・張本」の大スターでしたから、これでストライクが入らなかったらバットが飛んでくるどころじゃないと。びくびくしながら投げたら、やっぱりストライクが入らなかったんですよ。

プロの世界には「一流」と「超一流」がある。一流というのは、自分のことしかしない人。超一流ってのは、他人をうまく引き立てる人なんですよ。10球ぐらいボールが続いたんでとり私に監督室で「お前のボールを俺が受けると、間違いなく10勝以上する」って言って、私に「16」というエース番号をくれたんですよ。背中に〝電気〟が来ましたね。それでシーズンが終わったら16勝してたんですけど、張本さんは全部打ってくれた。そのおかげでストライクがやっと入ったんです。第一関門を実は張本勲さんという人に助けられた。これが私のキャンプの最大の思い出です。

そしてプロ野球生活1年目のシーズンが終わったところで、突然「南海ホークスへトレードや」と言われた。

南海へ入団後、初の練習の日に当時監督で4番でキャッチャーの野村克也さんが、いきなり私に監督室で「お前のボールを俺が受けると、間違いなく10勝以上する」って言って、私に「16」というエース番号をくれたんですよ。背中に〝電気〟が来ましたね。それでシーズンが終わったら16勝してたんですけど、張本さんは全部打ってくれた。そのおかげでストライクがやっと入ったんです。第一関門を実は張本勲さんという人に助けられた。これが私のキャンプの最大の思い出です。

そしてプロ野球生活1年目のシーズンが終わったところで、突然「南海ホークスへトレードや」と言われた。

南海へ入団後、初の練習の日に当時監督で4番でキャッチャーの野村克也さんが、いきなり私に監督室で「お前のボールを俺が受けると、間違いなく10勝以上する」って言って、私に「16」というエース番号をくれたんですよ。背中に〝電気〟が来ましたね。それでシーズンが終わったら16勝してたんですけど、張本さんは全部打ってくれた。そのおかげでストライクがやっと入ったんです。第一関門を実は張本勲さんという人に助けられた。これが私のキャンプの最大の思い出です。

そしてプロ野球生活1年目のシーズンが終わったところで、突然「南海ホークスへトレードや」と言われた。

南海へ入団後、初の練習の日に当時監督で4番でキャッチャーの野村克也さんが、いきなり私に監督室で「お前のボールを俺が受けると、間違いなく10勝以上する」って言って、私に「16」というエース番号をくれたんですよ。背中に〝電気〟が来ましたね。それでシーズンが終わったら16勝してたんですけど、張本さんは全部打ってくれた。そのおかげでストライクがやっと入ったんです。第一関門を実は張本勲さんという人に助けられた。これが私のキャンプの最大の思い出です。

そしてプロ野球生活1年目のシーズンが終わったところで、突然「南海ホークスへトレードや」と言われた。

南海へ入団後、初の練習の日に当時監督で4番でキャッチャーの野村克也さんが、いきなり私に監督室で「お前のボールを俺が受けると、間違いなく10勝以上する」って言って、私に「16」というエース番号をくれたんですよ。背中に〝電気〟が来ましたね。それでシーズンが終わったら16勝してたんですけど、張本さんは全部打ってくれた。そのおかげでストライクがやっと入ったんです。第一関門を実は張本勲さんという人に助けられた。これが私のキャンプの最大の思い出です。

そしてプロ野球生活1年目のシーズンが終わったところで、突然「南海ホークスへトレードや」と言われた。

南海へ入団後、初の練習の日に当時監督で4番でキャッチャーの野村克也さんが、いきなり私に監督室で「お前のボールを俺が受けると、間違いなく10勝以上する」って言って、私に「16」というエース番号をくれたんですよ。背中に〝電気〟が来ましたね。それでシーズンが終わったら16勝してたんですけど、張本さんは全部打ってくれた。そのおかげでストライクがやっと入ったんです。第一関門を実は張本勲さんという人に助けられた。これが私のキャンプの最大の思い出です。

南海でのキャンプの第1日目が、大方町（現・幡多郡黒潮町）なんです。プロとしての私の本当のスタートは、偶然にも高知なんですよ。

4年目のシーズンが終わって野村さんからまた突然、「江夏豊とトレードで阪神へ行け！」と。そして、憧れの長嶋巨人とも対戦することになりました。

後楽園球場、一塁側見たら長嶋さんがいるじゃないですか。興奮しました。「やっと来ました。長嶋さん、あなたの前まで」って。子どもの時に憧れて、やっと実現した。「ありがとうございます。長嶋さんのおかげです」って言うて投げたんです。実は、世界の王貞治さんとの対戦は楽しかった！　成績は、5年以上対戦して打てなかったピッチャーの1位が私でした。そういうことがあったりして巨人戦は楽しかったですね。

阪神時代の最初のキャンプ地が安芸で、その後、アメリカでもキャンプをやった。今度、藤川球児が行くアリゾナです。私はWBCの取材に行く予定で、藤川の様子も見てこようと思っています。藤川がアメリカでやれるかどうかは非常に興味深いが、大丈夫だと思います。頑張ってほしいですね！

リスクと上手につき合うコツ

商品の個性・特徴理解し使いこなす

ファイナンシャルプランナー
野尻　美江子氏

マーケット環境がいい時も悪い時も投資家が常に抱えているのが、「リスク」です。「リスク」を正しく知って、最適な投資との向き合い方、バランスをつかんでいただければと思います。

「日常生活のリスク」と「お金の世界のリスク」というのは意味が違っていて、金融商品の世界では「値動きの幅」のことを、日常生活のリスクというのはそのまま「危険なこと」と受け止めていいと思います。

日常生活のリスクは「徹底的に避ける」という意味合いになりますが、投資の世界のリスクは「取れる範囲で向き合っていく」という理解をすると受け止めやすいと思います。

向き合う理由

なぜ向き合うのか、理由は2点あります。

個人のお金の預け先として、「元本保証」で「高金利」かつ「引き出し自由」、この三つが兼ね備えられている商品があると最高です。残念ながら今の時代、こういった商品はありません。

「元本保証」と「引き出し自由」がかなうのが預貯金ですが、「高金利」は望めません。「高金利」が期待できる投資信託をはじめとする投資商品は「元本保証」ではありませんし、普通預金ほどの「引き出し自由」が望めません。

三つの要素をかなえるには、預貯金とともに、投資の世界の商品を組み合わせ、パッケージにすることによって確保しようという発想の下に「リスクと向き合う」という考え方があります。

もう一つは、「そこに山があるから」といった登山家のようなイメージで考えること。リーマンショックはすごくつらい局面でした。「何百年に一度」などと表現されましたが、そういう局面、歴史のいろんな転換点の中で、「チャンス」というふうに思えると、ヒントが見えてきます。

「日本版ISA」

平成25年度の税制改正大綱の中で、投資に挑戦する人の支援になるような制度があります。「日本版ISA」「少額投資非課税制度」といわれています。対象は20歳以上の日本居住者。注目ポイントは、職種や就業形態を選ばず、会社員はもちろん専業主婦、学生でも口座を開くことができるということです。

厚生年金基金などがいろいろ変化していく中で、年金の上に2段階、3段階と積み立てを工夫する中で、これを利用することでもう1段階増やすことができる制度だと思います。

1人1口座開設することができるので、夫婦だと一家に2口座になります。この制度を有効に活用するのがもう一段の将来に対する備えとして有効ではないでしょうか。

この制度は2014年1月から始まります。条件は、毎年100万円までの新規の投資、新たなお金を入れる必要がありますが、最大だと5年間で500万円の非課税枠をつくることができます。投資と向き合う心構えができていれば、とてもいい制度だと思います。

「3つの武器」念頭に

個人投資家が持つチャンス、速さでは機関投資家に勝てないという話を耳にしますが、意思決定のスピードは、大きな武器になります。

三つの武器があるということを念頭に置いて商品選びをすることが大事です。そのためには金融商品の個性、特徴を知っておく必要があります。

「続く投資」へ

投資信託は、個人では投資が難しい国や幅広い地域、商品に少額から分散投資ができます。運用を専門家に任せるので「信託報酬」というコストが掛かりますが、個性・特徴を理解して使いこなせれば、「続かない投資」が「続く投資」になります。

投資信託は、選ぶのが難しいとよく聞きます。大事な三つのステップを説明します。

1番目は「どこの」です。投資信託には世界中に投資するものあるいは数カ国のエリアに投資するもの、または1カ国だけに投資するものがあります。

「投資対象をどこにするか」がファーストステップです。

2番目は「何に」ということ。投資信託の投資対象は株式、債券、REITなどたくさんあります。3番目は「どうやって」。投資信託の運用手法には「アクティブ運用」と「インデックス運用」の違いがあります。アクティブ運用の投資信託は、対象銘柄の中からプロのファンドマネジャーが目利きをして選びます。

コストは高いですが、うまくいけば（インデックスよりも）好成績が期待できます。

これら三つを考えると、選ぶべきファンドが絞れてくると思いますし、値動きに押しつぶされないように、自分の中で根拠を持てるようになると思います。

「ETF」と「REIT」

「ETF」は証券取引所に上場されているので、リアルタイムで個別株のようにタイムリーな売買が可能です。ここが通常の投資信託との大きな違いで、今のところ日本にある商品はインデックス運用のみになります。指数に投資したい場合、リアルタイムで、かつ少額で購入できるので、入りやすい商品だと思います。

東証に上場する国内のETFでも90本程度あります。投資先を特定の業種に絞ったETFもあります。魅力は比較的コストが安いことですが、中には売買高が少ないETFもあるので、売りたい時、売りたい価格で売れない可能性、いわゆる流動性のリスクがある場合があります。しかし、コストが安いので長期投資の味方になってくれる商品です。初めての投資の商品として扱いやすいかもしれません。

「REIT」は不動産投資信託のこと。平たく言うと「小口の大家」です。投資家から集めた資金をオフィスビルや商業施設などの不動産で運用して、賃貸料や不動産の売買益を投資家に分配するという仕組みです。投資対象がオフィスビルに特化したもの、商業施設に特化したもの、レジデンスと呼ばれる住居に特化したものなどいろいろなタイプがあります。

なお、国内や海外の複数のREITに投資する投資信託もあります。日本のREITに投資するものは為替リスクがありません。

運用の部分をプロに任せられるというのが投資信託の最大の長所ですが、誤解されやすいのは、「任せられるからそのまま置きっ放し、持ちっ放しでよい」という考えを持っている人がいることです。真の意味の長期投資はメンテナンス、いろいろな時点で判断をすることはどうしても必要です。これは運用成果の鍵にもつながるので精査することが重要です。

「増やす派」と「使う派」

通常、投資信託は資産を増やすためのものですが、もう一つ、資産を使いながらなるべく長持ちさせるという投資信託もあります。「増やす派」と「使う派」、まったく逆の発想になるので、自分がどっち派か明確にする必要があります。ここがミスマッチになると目的とずれてしまいます。

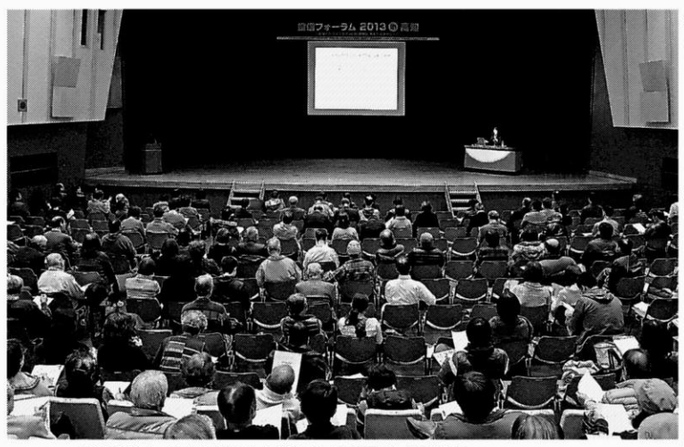
「使う派」のケースであるのは、「分配金」に対する誤解です。「分配金」は、預貯金の利息のように思えますが、根本的に性質が違います。預貯金は、元本が傷付かずそのまま利息が乗ってきます。投資信託の分配金というのは、純資産総額の中から出てくるもので、支払われた分配金の額だけ基準価格が下がる要因になります。

「毎月分配型」といわれる投資信託は、使う派の人のニーズに合う商品です。これは「分配金を優先する」というもので、分配金を確実に出すためにはどうしたらいいかという趣旨で運用しています。増やす運用、使う運用どちらもありますが、ミスマッチだけは避けるというのが最大のポイントです。

同じファンドを買っていても投資家の購入金額によって個別元本が違うということが起こります。分配金にも、「普通分配金」と「元本の払戻金」があって、鍵を握るのは投資家の個別元本です。分配金を支払った後、基準価格が個別元本、その投資信託の購入価格よりも上にあると、支払われた分配金は「普通分配金」となります。個別元本より下にあると、それは「元本の払戻金」ということになります。後々の誤解を避けるためにもこの違いを理解する必要があります。

目的が商品を決めるのだということを問いかけて、金融商品、投資信託を選んでいただければ幸いです。

「リスクの取り過ぎは負担の元」「情報に振り回されない。自分の中に根拠を持つ」「下落時に投入できる資金を持っておくと有利」「運用できることはその人が身に付けた立派なスキル」を心得てください。



約280人の参加者が熱心に耳を傾けた
（高新RKCホール）

FPによる投資信託セミナー

企画／制作　高知新聞社広告局

●主催／一般社団法人投資信託協会、高知新聞社、全国地方新聞社連合会
●後援／金融庁、金融広報中央委員会、財務省高知事務所、大阪証券取引所、信託協会、全国銀行協会、東京証券取引所、日本証券業協会、日本損害保険協会、不動産証券化協会、共同通信社

あなたのライフプランに「投資信託」、考えてみませんか？

時間を有効活用してリスクを小さく。
【資産の分散】【長期の保有】【時間の分散】
投資信託はあなたの資産運用のお役にたちます。

ガイドブックプレゼント（各1冊セット）　無料

（2012年版）　（2012年版）

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。
ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。
（お届けまで2週間程度かかる場合があります。）

〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町2-1
東京証券取引所ビル6階　一般社団法人 投資信託協会KC係
※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

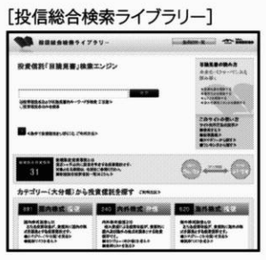
携帯電話はこちら

投資信託協会ホームページで

連載中　「著名人が語る・お金のはなし」が始まりました。

新機能　投信総合検索ライブラリー
・交付目論見書の閲覧
・基準価額の検索やリターン計算
・取扱販売会社や販売会社別手数料の検索
など

［投信総合検索ライブラリー］



一般社団法人 投資信託協会　www.toushin.or.jp　投資信託協会　検索